

平成 21 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	プラズマとナノ界面の相互作用に関する学術基盤の創成	
領域代表者名	白谷 正治 （九州大学・大学院システム情報科学研究所・教授）	
研究期間	平成 21 年度～ 25 年度	
<p>【科学研究費補助金審査部会における所見】</p> <p>本研究領域は、ナノテクノロジーにおいて問題となるナノ界面とプラズマの相互作用・揺らぎを制御することを目的としている。課題に対して指導原理が明確で、研究の必要性和重要性は明らかであり、新学術領域としての展開の可能性は高いと考えられる。個々の研究計画及び方法はよく練られており、これらが連携することで大きな成果が期待できる。領域組織は高いポテンシャルを持った若い研究者により構成されており、期待以上の成果が生まれる可能性がある。バイオ応用への新しい展開も興味深い。</p>		